

# 4年 道徳

主題名	自分のよさを伸ばす		
中心内容項目	A-4 主として自分との関わりをする事（個性の伸長） 「うめのき村の四人兄弟」		
	令和元年	8月23日	5校時
	児童	4年 1組	22名
	授業者	横山 理恵	

## 1 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

個性とは、個人特有の特徴や性格のことである。その個性の伸長を図るために、自分のよさを生かし、さらにそれを伸ばしていくことで、自分らしさを発揮しながら自己を形成していくことができると考える。

自分のよさは、こんな人でありたいという憧れや希望に向けて頑張っている姿であったり、達成感や成就感を味わうことで認識したり、人から言われて気が付いたりすることがあるだろう。よって、自分のよさとは、もともと持っているものだけでなく、自分自身が物事に取り組む姿勢によって大きく左右されるものだと考える。また、一面的なものではなく、様々な面があり、自分が認識しているものとずれがある場合もあるかもしれない。そういった様々な面があることに気が付けたい。

また、長所に目を向けようとすると同時に短所についても気が付くことになるだろう。短所も含めて自分の特徴として捉え、自分の個性としてよりよい方向に伸ばしていこうとすることが大切である。短所は、見方を変えれば長所になることも少なくない。自分の特徴を前向きに捉えることで、自分の良さを自覚し、自信をもって生活しようとする心情を育てたい。

### (2) 児童の実態（児童観）

本学級の子供たちは、普段の帰りの会で、よいところ見つけをやっている。その日にあった友達のよさを発表できる児童は多い。また、決して多いとは言えない人数のクラスであり、入学してからクラス替えもないことから、お互いの特徴をよく理解していると言える。

しかし、自分の良さについて理解している児童は多くない。自分と他者を比較して、自分の長所よりも短所に多く目がいきがちである。また、自分のよさや得意なことを人前で明らかにすることを恥ずかしいと思う児童もいる。自分のよさを自覚し、生活に生かしていくことで更に自分が成長することに気が付き、自分のよさを伸ばしていこうとする意欲をもたせていきたい。

### 【事前アンケート】

内容	結果
こんな人になりたいと憧れる人はいますか？ 誰のどんな所に憧れますか？	
友達のよいところを見つけてるのは得意ですか？	
自分の長所を 5つ書きましょう。	
自分の短所は ありますか それはどんなところですか	

### (3) 教材への思い（教材観）

本資料は、うめのき村の四人兄弟が、それぞれの長所や能力を発揮して協力することで、嵐から村を守ることができた話である。一つの目標に向かって、それぞれの持ち味や特徴を生かすことにより、結局は協力して物事に対処できるということがわかりやすく描かれている。

四人兄弟の父親が四人の長所をしっかりと理解し、指示を出したことで、それぞれが自分の力を十分に発揮できたことから、自分の良さを理解した上で様々な場面で良さを生かしていくことが、より一層、自分を伸ばしていくことに繋がることに考えを及ぼせたい。

## 2 総合単元ユニットとの関係

4年生になり、児童会活動や運動会の実行委員会での活動を通して、自分に与えられた仕事を一生懸命に取り組む姿が見られた。また、上級学年として活動ができることを誇らしげに感じながら、日々の児童会活動に取り組んでいる。この学習を通して、学級での係活動や児童会活動に心機一転取り組むにあたり、自分のよさを生かしながら取り組むことで、充実した活動が展開されることを期待したい。また、自分自身を見つめ直す機会としたい。

## 3 研究との関わり

### 学び合う雰囲気づくりの工夫

教師と子供の温かい人間関係、子供同士の認め合いや励まし合いのできる関係によって、お互いが心を開き、自由に話し合うことができるようにする。

### 問題意識をもつようにする導入の工夫

子供が自分の問題として捉え、その追求や解決について必然性をもって行うようにする。

### 自我関与させる展開の工夫

子供が読み物教材の登場人物に託して自らの考えや気持ちを素直に語る中で、道徳的諸価値の理解を図る。

### 生活とつなげる振り返りの工夫

学習内容や学習活動を俯瞰して納得解をまとめることで、自分の生活や行動、今後の発展へとつなぐことに着眼する機会とする。

## 4 本時の学習

### (1) 本時のねらい

- 自分の特徴に気づき、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てる。

### (2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応（○発問 ◎中心発問）	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり
価値への方向付け	<b>1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する</b> ○自分の長所と短所はどこか思い浮かべましょう。 ○その長所と短所をどうしたいと思っていますか？ 短所は、おこりっぽいところ。直したい。 長所は、人にやさしいところ。ずっとこのまま大切にしたい。 ○自分の長所をもっとよくしたいと思いませんか？ （問題意識をもたせる） <b>《本時の課題》</b> 自分のよさを伸ばすのに必要なことは何？	●学び合う雰囲気づくりを行う。 ◎自分の生活経験を思いだし、自分の特徴について考え、問題意識をもつ。
	<b>2 教材「うめのき村の四人兄弟」を通して、「課題」を追求する</b> ○自分ならどの場面で活躍できそうですか？それは自分にどのような特徴があるからですか？ ・自分なら、いちろうた。自分も力が強いから。進んでやりとげる方だ。 じろうた。丁寧にものを作るのが得意だから。 さぶろうた。動物を飼っているし、動物が好きだから。 しろうた。落ち着いている。慌てない。 その他。 ◎この4人はどうして、おとうが言った通りの仕事を最後までやりとげたのだろうか？それぞれの立場で話しましょう。 ・大変な時だから、言われたとおりにした方がいいと思った。 ・大変な仕事だけど、自分の得意なことだと頑張れると思った。 ・他の人には、任せられない。自分が一番上手にできると思った。 ○おとうはどのような考えでこの4人にこのような仕事配分をしたのでしょうか？ ・一番得意なことをさせた。人のためになることをさせた ・それぞれの長所が発揮できる仕事をさせた。 ・得意なことを使ったから、うまくいった。自分のよさに気付いてほしかったから	●範読しながら、同時に4人の特徴を黒板に整理していく。 ◎自分の立場をカードで明らかにさせながら交流する。交流する中から、自分が思っていた特徴とは違ったように他人から思われていることに気が付かせ、自分の良さには様々な面があるということをつかえさせる。 ◎それぞれの立場で語らせることで、自分が得意だと感じていることを行うときの、有用感を考えさせる。
	<b>《共通解》</b> ・自分のよさを知り、生かすことでよさは伸びる。	●おとうが4人のよさをしっかりと理解していたことを確認する。
価値の追求・把握	<b>3 価値について納得解をまとめる</b> ○自分のよさをこれからどんな場面で生かしていこうと思いますか？ ・自分のよさは○○なので、これからは～していきたいです。 ○今日の学習で学んだことを書きましょう。	□自分のよさを考え、伸ばしていこうという気持ちをもつことができたか【発言・ノート】 ●短所は、見方を変えれば長所になるということを伝える。自分の短所も長所として生かしていくこともできるという考え方を伝える。
	価値の自覚 意欲化	

### (3) 本時の評価

- 自分の特徴に気づき、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てることができたか。